



平成 21 年 1 月 9 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹
コード番号 1605 東証第 1 部
問合せ先 広報・IR エキスパートマネージャー 板野 和彦
電話番号 03-5572-0233

平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損（減損）に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

なお、四半期会計期間末における保有有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しており、平成 21 年 3 月期においては、その期末日の時価により、損失の計上額が変動する場合、もしくは損失を計上しない場合があります。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期累計期間の投資有価証券評価損（減損）の総額

(1) 連結

(A) 平成 21 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間の投資有価証券評価損（減損）の総額	30,153 百万円（注）
(B) 平成 20 年 3 月期の純資産の額（ $A/B \times 100$ ）	1,238,812 百万円 (2.4%)
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額（ $A/C \times 100$ ）	685,799 百万円 (4.4%)
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額（ $A/D \times 100$ ）	173,245 百万円 (17.4%)

（注）平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において計上した完全子会社保有の投資有価証券の減損損失 5,108 百万円を含んでおります。

(2) 個別

当社は、平成 20 年 10 月 1 日付で、完全子会社の国際石油開発(株)及び帝国石油(株)を吸収合併し、純粋持株会社から事業持株会社になり、商号を国際石油開発帝石ホールディングス(株)から国際石油開発帝石(株)に変更いたしました。上記基準(B)、(C)、(D)の決算期末である平成 20 年 3 月 31 日時点において、「個別会社」に相当するのは吸収合併前の純粋持株会社であり、減損の対象となった投資有価証券を保有しておりません。当該個別会社は、国際石油開発(株)及び帝国石油(株)の経営管理が主たる業務であり、直接事業を行っていないため、個別の減損額（25,044 百万円、上記連結の減損額 30,153 百万円との差額は、合併前の第 2 四半期連結累計期間に計上した完全子会社保有の投資有価証券の減損損失 5,108 百万円などによるものであります。）を経常利益や当期純利益と比較することは必ずしも適切ではないと考えておりますが、ご参考までに記載いたしますと、個別減損額（25,044 百万円）に対する平成 20 年 3 月期の上記基準(B)、(C)、(D)の各比率は、純資産の額 811,888 百万円に対し 3.1%、経常利益額 15,738 百万円に対し 159.1%、当期純利益額 15,576 百万円に対し 160.8%となります。

(ご参考)

- 1) 当社の決算期末は、3月31日であります。
- 2) 当社が保有する有価証券のうち時価が取得原価に比べ30%以上下落し、その回復があると認められないものについて、減損処理を行うこととしています。

2. 今後の見通し

上記損失額については、平成21年3月期第3四半期累計期間において営業外費用（連結：30,153百万円、個別：25,044百万円）として計上する予定です。なお、連結においては第2四半期連結累計期間に5,108百万円を既に営業外費用として計上しております。平成21年3月期の第3四半期決算が集計中であることに加え、本損失額以外の要因による業績への影響なども考慮する必要があることから、平成21年3月期の連結通期業績予想につきましては、現時点では修正いたしません。修正の必要があると判断される場合には、適時に公表いたします。

以 上